

## 子どもの

# コミュニケーションの苦手さについて

子どものコミュニケーションについて、こんな悩みはありませんか？

会話がかみ合わない

人が嫌がることを  
言ってしまう

友達の輪に入れない

言いたいことが  
上手く伝えられない

すぐに手がでる



## コミュニケーションとは・・・

広辞苑には「社会生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達」と書かれてあります。

つまり、「相手に対して何らかのメッセージを伝え、相手がそれを理解することで成立するもの」と言えます。

我々は、言葉や視線・表情・身振り・座り方などの姿勢や態度・文字などの手段を使い、刻々と変化する状況の中で、他者とコミュニケーションをとっています。

これらの手段を使ったコミュニケーションスキルは、生まれてからの経験や本人の特性に応じて、発達していきます。

こうしたコミュニケーションを苦手としている子どもたちがおり、その保護者の方々は上記のような悩みを持たれていることがあります。その子どもたちの中には自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症、限局性学習症などの発達障害の特性をもつ子どももおり、コミュニケーションが苦手な要因の一つにもなっています。そのため、子ども一人一人の特性を知り、それに応じた対応を見つけていくことが大切です。

# コミュニケーションが上手くいかない時の関わり方

- 例 -

## ことばで伝えられない

嫌なことをされた時や一緒に遊びたい時などに、言葉で表現ができないために、押したり、叩いたり、噛んでしまうことがあります。

### 対応

まずは、どうして押したり、叩いたりしてしまったのか子どもの目線で原因を考えてみましょう。自分の気持ちを話せる子の場合は、その子なりの理由を聞いてあげてください。

気持ちが言えたときにはその気持ちに共感してあげましょう。そして『次は、「遊ぼう」って言ってみようね』など具体的な言い方を教えてあげましょう。いろいろな場面があるので、一度教えることができるようになるとは限りません。根気強く、繰り返しによって、言葉で表現する力をつけていきましょう。



### Point !



怒ったり、泣いたりしている時は少し落ち着くまで待つてあげることが大切です。

- 例 -

## 思ったことをそのまま言ってしまう

友達の気持ちや状況を考えずに思ったことを言って、友達を怒らせたり、泣かせたりしてしまうことがあります。自分の言葉で相手が傷ついていることに気付いていなかったり、言葉の意味を十分に理解しないまま使っていたり…と、本人は悪気がないことがあります。

### 対応

大人が間に入り、友達の気持ちや正しい言葉を教えていきます。「～って言えばいいんだよ」と正しい言葉を教えてあげることが大切です。

そんなことも知らないの？



### Point !



「言っちゃダメ」と教えるだけでなく、どうしてダメなのか理由を含めて具体的に説明してあげましょう。

## Message

上記は、一般的な対応法の一例を紹介しました。実際には、ひとりひとりの特性に合わせて対応を考えることが大切です。リハビリテーション科では、ことばの発達やコミュニケーションスキルを評価しながら、お子さんに合ったコミュニケーションを育む関わりを言語聴覚士が主に担っています。その対応方法は、日々の生活に活かしていくことができるよう、保護者と一緒に考え、サポートしていきます。

倉敷成人病センター  
診療支援部 リハビリテーション科